

令和6年度東北農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定地区

ビジネス・イノベーション部門			
No.	所在市町村	地区名	取組の概要
1	岩手県一関市	株式会社テクノボンズ	 <p>搾油の様子</p> <p>【概要】 菜種・えごま・ひまわり・ぶどうなどの搾油加工受託。                      【効果】 地域の農家の収入増加に貢献。ワインの搾りかすから種を選別する作業は福祉施設の利用者に委託することで雇用増加。菜の花とひまわりの花で地域の観光資源の創出。</p>
2	宮城県名取市	宮城県農業高等学校農業経営者クラブ	 <p>海のゴミ拾いボランティア</p> <p>【概要】 プラスチックカプセル肥料の残骸による環境汚染を防止するため、ウレアホルムによる緩効性肥料を開発しプラスチック不使用の肥料を商品化。                      【効果】 肥料会社3社と連携し、新肥料を商品化。研究成果が各種コンクールで受賞したことや、SNSの情報発信により、消費者と生産者の意識を変えた。</p>
コミュニティ・地産地消部門			
3	青森県黒石市	大川原地区棚田地域振興協議会	 <p>県無形文化財「大川原の火流し」</p> <p>【概要】 大川原棚田地域の保全と農作物の付加価値向上に取組み、棚田を核として地域の振興を図る。                      【効果】 大川原棚田地域の景観の保全のため、農地を集約して若手耕作者を確保。耕作放棄地を協議会で維持管理保全管理を実施。棚田米のブランド化と販路拡大。スマート農業で省力化し、耕作放棄地の解消。棚田を主軸とした広報媒体の制作やイベントの開催による交流人口の拡大。</p>
4	宮城県東松島市	奥松島果実生産組合 いちじくの里	 <p>桃・イチジクの120本植樹</p> <p>【概要】 のり養殖の閑散期に果樹栽培をする「半農半漁」を実施。                      【効果】 東日本大震災から復旧した農地の活用を目的に、稲作やのり養殖を営む8名が、担い手の見つからない農地で、桃・いちじくの栽培を開始。地元小学校や幼稚園への見学や無料桃狩り体験を通じた教育活動を実施。県内外の自治体、農業者の視察を受け入れ。果樹栽培による収入の増加。体験による地域農業への関心の向上。</p>
5	宮城県川崎町	株式会社 モモ百	 <p>百の理念を体験できる「百のやど」</p> <p>【概要】 建築の地産地消による宿泊施設の建設と食・エネルギーの地産地消の体験を実施。                      【効果】 食とエネルギーの地産地消を目指し、30代の移住者で株式会社百を設立。「みちのく川崎里山ツーリズム協議会・里山joy!」の中核を担い、町内の事業者と連携して体験型ツアーの提供。宿泊者の増加。各種イベントへの参加者が増加することによる地域活性化に寄与。</p>
個人部門			
6	福島県南会津町	渡部 雅俊	 <p>地域住民共同での大堰水利確保作業</p> <p>【概要】 なかあらい大地を育む会代表として、地域の各団体と連携し地域の課題解決（少子高齢化、遊休農地の利活用、鳥獣害対策）の解決に助力。                      【効果】 集落に在住する若者層を「育む会」の役員として人材育成に務めている。ソバの種子を生産し所得向上に寄与。イノシシ・ニホンジカの被害が著しく減少。</p>

令和6年度東北農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」奨励賞

奨励賞			
No.	所在市町村	地区名	取組の概要
1	青森県五所川原市	青森県立五所川原農林高等学校 生物生産科 6次産業研究室	 <p>子ども食堂 未利用リンゴ・地域農家野菜提供</p> <p>【概要】農業高校生による“見えない食品ロス”削減と産官学民連携による食育・共食プログラムの実践</p> <p>【効果】農業高校フードバンクで農産物等の提供実績増加。未利用リンゴを活用し、全国の子ども食堂に提供。未利用リンゴを使った品種ミックスジュースを開発・販売し、売上げをフードバンクの資金や子ども食堂への発送費に活用。</p>
2	青森県板柳町	水土里ネット板柳東部土地改良区	 <p>浅瀬石川ダムを見学</p> <p>【概要】普段私たちが使っている水はどこから来るのか、どのようにして出来るのかを農業水利施設の見学とともに実施。</p> <p>【効果】小学生に対し農業水利施設の見学を行った結果、地域が一体となって管理する必要があることを実感して貰えた。</p>
3	宮城県気仙沼市	特定非営利活動法人 リアスの森応援隊	 <p>炭出し体験会</p> <p>【概要】荒廃した森林を適正に間伐し、薪炭や木酢液を製造。それらを活用する環境学習交流会を開催。炭竈を中心としたイベントを定期的に開催。</p> <p>【効果】荒廃した森林の改善。林業閑散期の収入増加。イベントにより交流人口の増加。</p>
4	宮城県栗原市	有限会社キリシロ	 <p>栗駒地区保育園の収穫体験</p> <p>【概要】自社栽培のぶどうを使い、障がい福祉事業所との連携によりワインを製造。移動式ワインバーカウンターでマルシェに出展するなどの販売を実施。</p> <p>【効果】障がい者のやりがい創出。地域のボランティアの参加やワイナリーの見学による交流人口の増加。</p>
5	宮城県富谷市	特定非営利活動法人 SCR	 <p>山のがっこうの林業活動</p> <p>【概要】林業体験や森林の癒しを感じられるようなイベントを実施。養蜂事業は不登校特例校との農福連携。</p> <p>【効果】イベントの開催により、人が集まる機会を作り地域の活性化に貢献。不登校生徒は学校に通えるようになった。養蜂について市内小学3年生に出前授業を行い、食育や命の尊さを学ぶ機会となった。</p>
6	秋田県大湯村	社会福祉法人 南秋福祉会 農福連携サポートつくし	 <p>農福連携ファームのカボチャ収穫・出荷作業</p> <p>【概要】福祉施設が、大湯村の農作業及び食品加工をサポートし、地域貢献を果たす。</p> <p>【効果】就労支援施設利用者の工賃の増加とやりがいの充足。農家の人手不足解消に寄与。</p>
7	山形県山形市	山形県グリーン・ツーリズム推進協議会「農家のお宿の会」	 <p>山形・農家のお宿ガイド</p> <p>【概要】協議会員が連携し、宿の品質向上を図りながら農泊体験企画を情報発信することにより地域活性化に取り組む。</p> <p>【効果】農泊推進のため、県内農家民宿等がネットワーク化することにより、受入態勢の整備・品質向上と情報発信の一元化、地域との連携活動が盛んになり、宿泊申込の増加。</p>
8	山形県村山市	山形県立村山産業高等学校 農業科学部 サトイモ・芋煮研究班	 <p>収穫したサトイモの販売</p> <p>【概要】山形県産サトイモに関する様々な課題（栽培方法、新商品開発、消費拡大）を高校生が研究し解決。</p> <p>【効果】8月に地元産のサトイモで芋煮を作るため、促成栽培を確立。サトイモの保存方法を研究し農業経営における損失を大きく改善。開発したメニューを使った商品を開発し、地元企業が販売。</p>

9	福島県 福島市	有限会社まるせい果樹園	 <p>夜の果樹園</p>	<p>【概要】夜の果樹園をライトアップするイベントを開催。自家製果物を使ったSNS映えするパフェの開発し、農家カフェで提供。風評被害を払しょくするため、GAP認定により安全性をPR。</p> <p>【効果】イベントやカフェの取組みが話題となり、新たな来場者増加と直売所やECサイトの売上増加。GAP認定と直売所の取組みを参考にしたいと、他地域や様々な業種の方の視察増加。</p>
10	福島県 富岡町	とみおかワイン	 <p>苗木定植ボランティア参加者</p>	<p>【概要】2025年春のワイナリー開業を目指し、震災前の町民数16,000人と同じ本数(16,000本)のワイン用ブドウ苗木を植える。</p> <p>【効果】ぶどう栽培のボランティアの増加。ボランティアをきっかけに7名の移住。関係交流人口や移住人口にも大きく貢献。荒地をぶどう畑にすることで緑地化に貢献。</p>